

平成30年度環境とやま県民会議 事業計画

1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。

また、今年10月に本県で開催される「3R推進全国大会」を契機に、3Rの取組みなどエコライフの普及啓発や環境保全活動を積極的に展開する必要がある。

こうしたことから、当県民会議では、引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、とやま環境フェアなど各種イベントを開催し、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけることとする。

また、当県民会議では、①「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、②「とやま節電・省エネキャンペーン」、③「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開するものとする。

2 事業内容

(1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

<循環型社会づくり>

① とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業の実施

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 とやまエコ・ストア制度登録事業者が県民と協働で行う環境配慮行動や富山の環境に関する情報をスマートフォン用アプリ等により県民に発信し、県民の環境配慮行動を促進するとともに、「とやまエコ・ストア制度」のさらなる普及・拡大を図り、県民のエコライフの定着・拡大を推進する。

② 「いつでも、どこでも3R」キックオフイベントの開催事業

3R推進全国大会に向けて、マイバッグ持参や食品ロス削減など様々なライフスタイルに応じた3R活動の取組みの拡大に向けたキックオフイベントを開催する。

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成30年6月23日(土) (エコライフ・アクト大会)
- ・内 容 3Rに関するトークショー、新たな3R活動の開始宣言 等

③ 食品ロス削減県民チャレンジ推進事業の実施

- ・主 催 富山県
- ・内 容 県民総参加による食品ロス削減の取組みの実践を促し、その効果を実感し継続につなげるため、食品ロスを出さない期間を設定し、グループ単位で食品ロスの廃棄ゼロを競うキャンペーンを開催する。また、楽しみながら食品ロス削減に取り組めるサルベージ・パーティについて、その自主的な開催を促進するセミナーの開催支援などを行う。

④とやま環境フェアの開催

- ・主 催 とやま環境フェア2018開催委員会
- ・実施時期 平成30年10月13日(土)、14日(日) (3R推進月間)
- ・会 場 高岡テクノドーム (富山県産業創造センター)
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行う。

⑤ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 環境とやま県民会議、富山県
- ・実施時期 平成30年10月13日(土)又は14日(日) (とやま環境フェア2018と併催)
(3R推進月間)
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深め、ごみゼロ社会への取組みを推進するため、功労者表彰や活動報告等を行う。

<低炭素社会づくり>

①エコドライブ推進運動の実施

(ア)エコドライブの推進

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団 (富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成30年4月～平成31年3月
- ・内 容 窒素酸化物や二酸化炭素の排出量の削減のほか、燃料消費量の削減等の効果のあるエコドライブを実践するため、講習会への参加などによりエコドライブの方法及び効果について理解を深める。
併せて、エコドライブとやま推進協議会が募集しているエコドライブ宣言に協力し、エコドライブ実践者の拡充を図る。

(イ)エコドライブ実践促進事業

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団 (富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成30年10月13日、14日 (予定)
- ・内 容 気軽にエコドライブを体験できる機会を提供するため、とやま環境フェア会場において、仮想的にエコドライブを体験できるシミュレーターを用いた体験会を開催するなど、エコドライブの一層の定着・拡大を推進する。

②ノーマイカー運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・内 容 公共交通の利用拡大と環境負荷低減を目的に実施されるノーマイカー運動に参加することで、過度にマイカーに依存した生活を見直し、エコライフスタイルへ転換するきっかけとする。

③エコアクション 21 推進事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団 (エコアクション21地域事務局)
- ・実施時期 平成30年4月～平成31年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション 21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション 21 自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、事業者の認証・登録を促進し、持続可能な社会づくりを図る。

(2)とやま節電・省エネキャンペーン 2018

①クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践する。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践する。

さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」の普及を図る。

②ライトダウンキャンペーンの実施

- ・主 催 環境省、富山県、(公財)とやま環境財団 (富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成30年6月21日(木)、7月7日(土)
- ・内 容 夏至と七夕の夜8時から10時までの2時間を特別実施日として設定し、「ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。」をスローガンに、家庭の不要な電気の消灯や、安全面、防犯面等で支障のない範囲での消灯の協力を呼びかける。

(3)環境教育・環境保全活動の推進

①環境とやま県民会議総会、エコライフ・アクト大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成30年6月23日(土) (環境月間)
- ・会 場 ファボーレ 太陽の広場 (富山市)
- ・内 容 環境とやま県民会議総会を開催し、活動方針を報告する。また、同日、エコライフスタイルを推進するため、エコライフ・アクト大会を開催する。

②エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成30年4月～12月
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やご

みゼロなどのテーマに関する、「エコライフ・イベント」を実施する。また、構成団体ではブース出展等に積極的に参加し、エコライフの普及を図る。

③環境保全・環境教育に関する活動支援事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談に対応するとともに、幼児とその保護者を対象としたエコライフ教室を実施する。また、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図る。
- ・予 定 エコライフ教室：10回程度

④とやま環境未来チャレンジ事業の実施

(ア) とやま環境チャレンジ10事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 小学4年生(10歳)の児童が、家庭で地球温暖化防止や富山物質循環フレームワークを踏まえた3Rの推進、食品ロス削減等のための10の取組みを4週間実践することにより、児童と家族の環境保全意識の高揚及びエコライフの定着を図る。
- ・予 定 県内全市町村で合計64校、児童3,503名

(イ) 食品ロスゼロチャレンジ事業

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・内 容 家庭科の授業が始まる小学校5、6学年生を対象とした食品ロス削減の学習を推進するため、授業に活用できる啓発資料を希望校に提供する。
- ・予 定 各小学校

⑤スターウォッチング推進事業の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・開催時期 平成30年8月頃(予定)
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気や街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を推進するため、星空観察会を開催する。

⑥環境教材等の配布

- ・主 催 (公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団への寄付金を活用し、幼児向け環境教育教材を保育園・幼稚園に配布し、環境教育の推進や地球温暖化問題に対する理解を促す。